



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月26日

上場会社名 日東エフシー株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4033 URL http://www.nittofc.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡邊 要
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)武田 聡 (TEL)052-661-4381
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 平成25年6月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	8,080	△4.4	947	△11.5	1,728	2.9	1,108	4.9
24年9月期第2四半期	8,450	6.2	1,070	24.0	1,680	67.2	1,056	79.2

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 1,435百万円(17.9%) 24年9月期第2四半期 1,217百万円(76.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年9月期第2四半期	円 銭 42 13	円 銭 — —
24年9月期第2四半期	39 65	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年9月期第2四半期	百万円 44,412	百万円 38,538	% 86.8
24年9月期	43,566	37,561	86.2

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 38,538百万円 24年9月期 37,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年9月期	円 銭 — —	円 銭 10 00	円 銭 — —	円 銭 10 00	円 銭 20 00
25年9月期	— —	10 00	— —	— —	— —
25年9月期(予想)	— —	— —	— —	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 17,600	% 2.2	百万円 1,900	% △11.5	百万円 2,000	% △21.9	百万円 1,200	% —	円 銭 45 92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (—)、除外 一社 (—)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年9月期2Q	29,201,735株	24年9月期	29,201,735株
25年9月期2Q	3,067,220株	24年9月期	2,687,220株
25年9月期2Q	26,304,845株	24年9月期2Q	26,637,870株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えにより緩やかながら景気回復の兆しが見られましたが、欧州債務危機や新興国の景気減速の影響もあり、先行きの見通せない状況で推移いたしました。その後、昨年12月の政権交代を機に打ち出された成長戦略や金融緩和への期待から、過度な円高の修正や日経平均株価の回復など、国内経済の先行きへの期待感と明るさが見え始めました。

肥料業界におきましては、肥料の国内需要は漸減傾向が続き、価格面では年2回肥料価格の改定を行う2期制の定着化などにより農家は価格動向に敏感となっており、各社の競争は激化しております。

このような状況のもと、主力の肥料事業におきましては、顧客ニーズに対応した新製品の提案や技術指導等の付加サービスを伴う営業活動を推進するとともに、生産効率の改善や経費圧縮を図ってまいりました。商社事業におきましては、国際市況と国内需要動向等を注視しつつ受注の拡大に努めてまいりました。

また、不動産賃貸事業におきましては所有している賃貸物件ごとの収益性や稼働率の向上を図り、その他事業ではホテル・運送・倉庫の各部門とも稼働率や顧客サービスの向上等により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は80億80百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は9億47百万円（前年同期比11.5%減）、デリバティブ評価損益の改善等もあり経常利益は17億28百万円（前年同期比2.9%増）、四半期純利益は11億8百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(肥料事業)

原価低減に努めましたが、肥料価格の値上がりを見越した駆け込み需要のあった前期と比較し販売数量が減少したため、売上高55億29百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益8億5百万円（前年同期比7.3%減）と減収減益となりました。

(商社事業)

受注の拡大に努め増収を確保しましたが、国際市況の変動や為替水準の影響により輸入商材の原価率が上昇、経費削減等に努めましたがこの影響を補いきれず、売上高18億7百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益94百万円（前年同期比33.8%減）と増収減益となりました。

(不動産賃貸事業)

賃貸物件ごとの稼働率や収益性の向上に努め、売上高5億73百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益2億92百万円（前年同期比2.4%減）と概ね前期並の業績を確保いたしました。

(その他事業)

売上高は前期を下回りましたが、経費削減等に努め収益は前期を上回って推移いたしました。その他事業全体では、売上高3億48百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益68百万円（前年同期比18.0%増）と減収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億46百万円増加し444億12百万円となりました。これは主に、有価証券が4億78百万円、商品及び製品が10億72百万円、土地が8億17百万円増加したことや、現金及び預金が17億89百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少し58億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億73百万円増加したことや、未払法人税等が1億74百万円、その他流動負債が5億9百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が8億43百万円、その他有価証券評価差額金が3億27百万円増加したことや、自己株式の取得により1億94百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億76百万円増加し385億38百万円となりました。この結果、自己資本比率は86.8%（前連結会計年度末86.2%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、四半期純利益の計上により11億8百万円増加し、配当金の支払いにより2億65百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ8億43百万円増加し231億13百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億89百万円減少し73億14百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1億35百万円（前年同期比54.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えた資金の源泉が19億52百万円ありましたが、仕入債務の増加から売上債権及びたな卸資産の増加を差し引いた資金の減少が3億39百万円、法人税等の支払いにより7億47百万円資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、14億98百万円（前年同期は8億30百万円の増加）となりました。これは主に、債券等の取得による支出が10億20百万円、有形固定資産の取得による支出が14億83百万円、債券等の償還及び売却等による収入が9億99百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、4億30百万円（前年同期比8.7%減）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が1億94百万円、配当金の支払額が2億65百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、下半期における肥料需要並びに為替相場の動向が不透明であるため平成24年11月12日に発表いたしました業績予想を据え置くものとし、合理的見積りが可能となりました時点で対応させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,103,280	7,314,259
受取手形及び売掛金	5,303,422	5,516,785
有価証券	1,999,727	2,477,913
商品及び製品	2,215,726	3,287,786
仕掛品	246,078	216,997
原材料及び貯蔵品	2,479,992	2,036,037
その他	461,166	447,583
貸倒引当金	△1,226	△593
流動資産合計	21,808,168	21,296,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,840,355	3,994,913
土地	11,850,867	12,668,480
その他(純額)	796,910	1,173,479
有形固定資産合計	16,488,133	17,836,873
無形固定資産	582,142	572,009
投資その他の資産		
投資有価証券	3,662,348	3,695,669
その他	1,027,496	1,014,472
貸倒引当金	△2,005	△3,010
投資その他の資産合計	4,687,839	4,707,131
固定資産合計	21,758,115	23,116,014
資産合計	43,566,284	44,412,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,806,809	2,280,167
短期借入金	—	28,948
未払法人税等	734,908	560,730
賞与引当金	217,733	221,048
役員賞与引当金	400	—
その他	1,508,162	998,361
流動負債合計	4,268,013	4,089,257
固定負債		
退職給付引当金	25,178	25,429
役員退職慰労引当金	203,331	204,570
その他	1,507,783	1,554,861
固定負債合計	1,736,293	1,784,861
負債合計	6,004,307	5,874,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,100,755	9,100,755
利益剰余金	22,270,404	23,113,414
自己株式	△1,307,739	△1,501,899
株主資本合計	37,474,096	38,122,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,884	415,755
繰延ヘッジ損益	△4	△35
その他の包括利益累計額合計	87,880	415,720
純資産合計	37,561,976	38,538,665
負債純資産合計	43,566,284	44,412,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	8,450,813	8,080,863
売上原価	6,364,504	6,088,495
売上総利益	2,086,309	1,992,368
販売費及び一般管理費	1,015,721	1,045,153
営業利益	1,070,588	947,215
営業外収益		
受取利息	14,122	24,174
受取配当金	17,910	16,244
持分法による投資利益	95,733	54,603
デリバティブ評価益	538,497	617,807
その他	49,986	80,804
営業外収益合計	716,250	793,634
営業外費用		
支払利息	17	198
為替差損	99,056	9,226
その他	7,189	2,516
営業外費用合計	106,264	11,942
経常利益	1,680,573	1,728,908
特別利益		
固定資産売却益	134	—
投資有価証券売却益	—	18,802
特別利益合計	134	18,802
税金等調整前四半期純利益	1,680,708	1,747,710
法人税、住民税及び事業税	623,049	587,241
法人税等調整額	1,485	52,314
法人税等合計	624,534	639,555
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056,173	1,108,154
四半期純利益	1,056,173	1,108,154

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056,173	1,108,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159,430	327,870
繰延ヘッジ損益	2,339	△30
その他の包括利益合計	161,770	327,839
四半期包括利益	1,217,944	1,435,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,217,944	1,435,993

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,680,708	1,747,710
減価償却費	233,274	204,999
のれん償却額	1,572	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,491	371
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,364	3,314
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	△400
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,522	251
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,831	1,239
受取利息及び受取配当金	△32,032	△40,419
デリバティブ評価損益 (△は益)	△538,497	△617,807
支払利息	17	198
持分法による投資損益 (△は益)	△95,733	△54,603
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△18,802
売上債権の増減額 (△は増加)	△935,540	△213,362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△820,968	△599,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,108,272	473,358
前受金の増減額 (△は減少)	△836	△160
その他	△83,276	△42,288
小計	505,524	844,575
利息及び配当金の受取額	34,720	38,741
利息の支払額	△17	△198
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△242,023	△747,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,203	135,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△800,000	△898,749
有価証券の売却及び償還による収入	2,975,621	744,746
有形固定資産の取得による支出	△458,060	△1,483,030
有形固定資産の売却による収入	144	4,949
投資有価証券の取得による支出	△896,678	△121,695
投資有価証券の売却及び償還による収入	15,100	254,679
貸付けによる支出	△4,480	△660
保険積立金の積立による支出	△3,110	—
保険積立金の払戻による収入	1,481	—
その他	746	1,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	830,764	△1,498,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,123	28,948
自己株式の取得による支出	△207,802	△194,218
配当金の支払額	△269,845	△265,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△471,525	△430,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,385	4,027
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	659,828	△1,789,020
現金及び現金同等物の期首残高	7,940,341	9,103,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,600,170	7,314,259

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,927,712	1,728,207	526,928	8,182,848	267,964	8,450,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,383	22,197	45,487	70,068	85,771	155,840
計	5,930,096	1,750,405	572,415	8,252,916	353,736	8,606,653
セグメント利益	868,497	143,233	299,375	1,311,106	58,371	1,369,477

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,311,106
「その他」の区分の利益	58,371
セグメント間取引消去	7,886
のれんの償却額	△1,572
全社費用(注)	△304,252
その他の調整額	△951
四半期連結損益計算書の営業利益	1,070,588

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,526,046	1,755,543	527,659	7,809,248	271,614	8,080,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,268	52,088	45,444	100,800	77,195	177,996
計	5,529,314	1,807,631	573,104	7,910,049	348,810	8,258,859
セグメント利益	805,023	94,835	292,191	1,192,050	68,883	1,260,933

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,192,050
「その他」の区分の利益	68,883
セグメント間取引消去	7,996
全社費用(注)	△320,715
その他の調整額	△999
四半期連結損益計算書の営業利益	947,215

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。